

王寺町 地球温暖化対策 実行計画（事務事業編）における二酸化炭素(CO₂)排出量の状況について

1. 実行計画（事務事業編）で定める基本的事項

【地球温暖化対策実行計画（事務事業編）】 ≪自治体自身の削減計画≫

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、国が策定する「地球温暖化対策計画」に即して、都道府県及び市町村が策定する温室効果ガス排出量の削減計画

○期間 2023(R5)～2030(R12)年度の8年間 ≪国の計画期間に合わせた設定≫

○目標「2030(R12)年度において、温室効果ガスを2013(H25)年度比46%削減」
≪国の目標値に合わせた設定≫

○対象とする温室効果ガス 90%以上を占める二酸化炭素(CO₂)※を対象に設定

※2013(H25)年度の排出要因：①電気使用量(85%)、②ガソリン・軽油(6%)、③その他(都市ガス等)(9%)

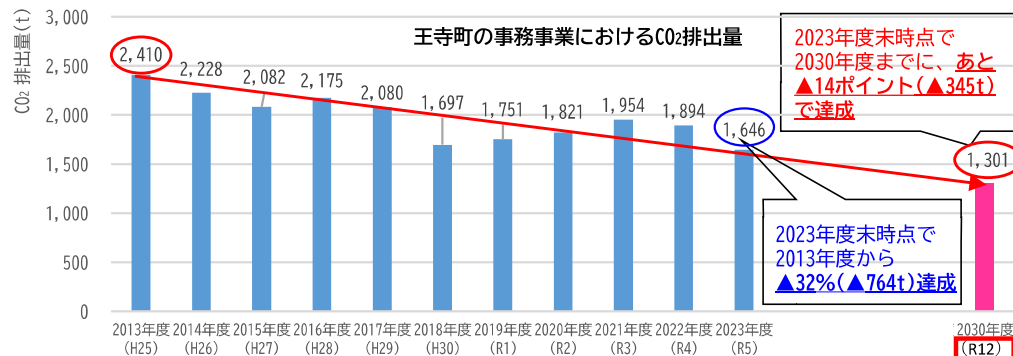
○二酸化炭素(CO₂)排出量の計算式

活動量(電気やガス等の使用量)×排出係数※

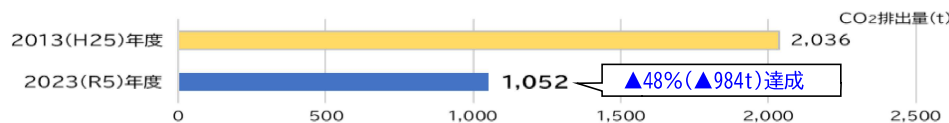
※例)電気の場合：電力会社が1Kwhの電力を作り出す際のCO₂排出量(例年8～10月末に前年度係数を発表)

2. 二酸化炭素(CO₂)排出量の状況

区 分	基準年度排出量 2013(H25)年度	削減目標	目標年度排出量 2030(R12)年度
二酸化炭素(CO ₂)	2,410	46%	1,301



2-①. 各施設電気使用量の削減取組 ≪全体に占める割合:85%⇒64%≫

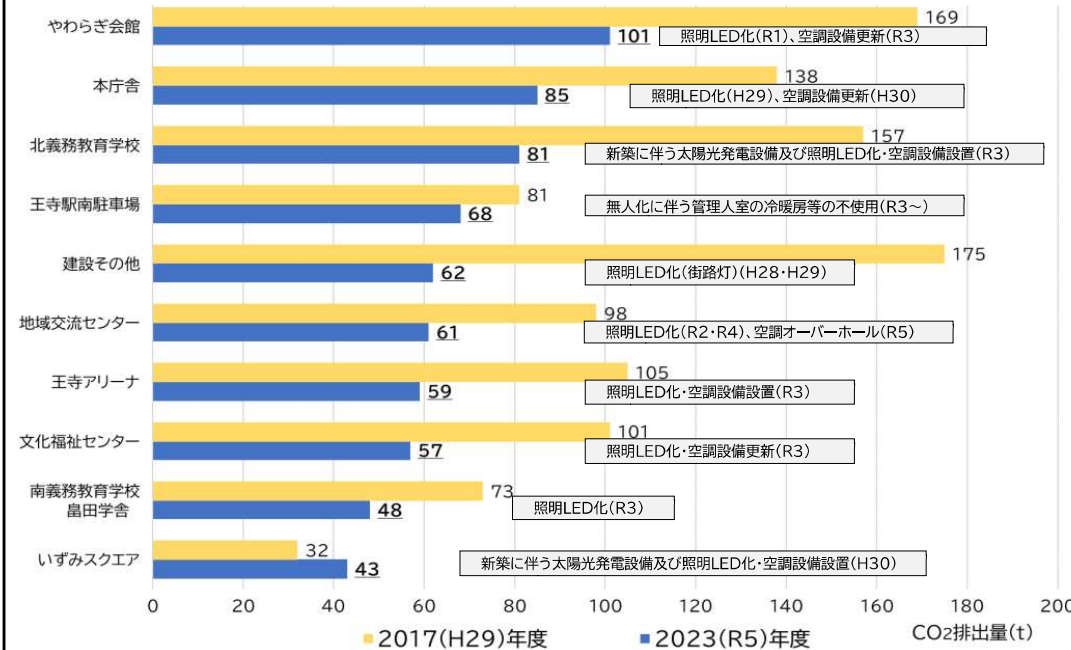


【要因】二酸化炭素(CO₂)削減量のうち、最も多くを占める電気使用量については、施設の更新や統廃合、照明LED化、空調設備更新等により、大幅に削減

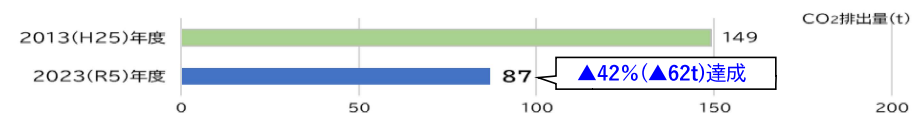
【今後】施設更新時における省電力化や太陽光発電設備等の導入

・節電等の取組(室温設定の適正管理、エレベーター使用削減、エコスタイル・ノー残業デーの徹底)など

【内 訳】各施設電気使用量の状況 ≪上位10施設(令和5年度)≫



2-②. 公用車ガソリン・軽油使用量の削減取組 ≪全体に占める割合:6%⇒5%≫

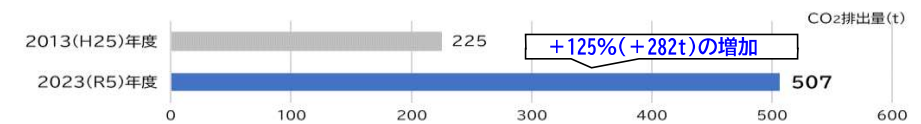


【要因】台数減(▲9台)及び電気自動車導入(4台)により削減

※H25年度：公用車76台 ⇒ R5年度：公用車67台(ガソリン・軽油車(農芥車等)63台・電気4台)

【今後】計画的な電気自動車への更新とハイブリッド車への入替により削減

2-③. その他(都市ガス等※)使用量の削減取組 ≪全体に占める割合:9%⇒31%≫



【要因】義務教育学校の空調設備設置及びやわらぎ会館の空調設備更新、幼稚園の給食開始

【今後】各施設の適正利用(空調等)

≪※その他：都市ガス、重油、ガス(LPG)、灯油≫

3. その他の対策

- 電子決裁等のペーパーレス化・紙類(雑紙)のリサイクルの徹底
- CO₂吸収源として公共施設内の緑化、樹木や花壇の適正管理